

科目名	保 育 原 論		担当教員	金 瑛 珠		
			担当形態	単独		
テキスト	保育用語辞典（ミネルヴァ書房） ワークで学ぶ保育原理（わかば社）	単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	前期	
講義概要 ■到達目標■ 保育者になるために必要な基本知識および考え方を学び、理解し、まとめることができる。						
■授業のテーマ及び概要■ 保育者になるための学びをスタートさせる皆さんにとって、保育学入門に値する授業である。 この授業の中で、保育に対する基本的な考え方や知識を身につけ、また、保育界がおかれている現況についても学ぶ。 “保育”という言葉から思い浮かぶものは、子どもの姿だと思われるが、“子どもとかかわる・子どもと向き合う”ということだけが保育ではないことを学び、子どもの背景にある家庭・社会にも関心を向け、様々な視点から子どもとその周辺について学ぶ。						
■授業計画■ 第1回 オリエンテーション・“生きる力の基礎” “子どもの最善の利益” とはなにか、を礎とする 第2回 発達観から保育を学ぶ 現在の保育実践の前提となる発達観について学ぶ 第3回 ワークで学ぼう、保育実践の現状① 諸法令からみる保育の原理 第4回 ワークで学ぼう、保育実践の現状② 幼稚園教育要領と保育所保育指針に見る保育の原理 第5回 ワークで学ぼう、保育実践の現状③ 幼稚園と保育所・養護と教育について 第6回 ワークで学ぼう、保育実践の現状④ 新しい保育の場としての認定こども園を知る 第7回 小テスト 保育者になるための知識～保育実践の基本と課題① 保育実践の基本構造について 第8回 保育者になるための知識～保育実践の基本と課題② 多様な保育内容とその方法 第9回 保育者になるための知識～保育実践の基本と課題③ 保育者の在り方を考える 第10回 保育者になるための知識～保育実践の基本と課題④ 求められる保護者との協働ならびに保護者支援・子育て支援 第11回 小テスト 保育者になるための知識～保育の歴史に学ぶ思想と意義① 第12回 保育者になるための知識～保育の歴史に学ぶ思想と意義② 第13回 保育者になるための知識～保育の歴史に学ぶ思想と意義③ 第14回 これからの保育について テスト 第15回 まとめ 保育原理の学びから今後の学びに向けて…						
■準備学習■ ・指示に従って、事前学習をきちんと行ったうえで授業を受けること。 ・小テストを行っていくので、单元ごとに、学んだことをしっかり理解した上で、次に進められるよう、事前事後学習をしっかりと行うこと。						
■評価方法■ ・小テスト・レポート — 40% ・期末テスト — 60%						
参考文献	必要に応じて紹介していきます。		特記事項	特になし		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修		幼	教職に関する科目		
	保育士資格必修 社会福祉主事任用資格選択必修		保	保育の本質・目的に関する科目		